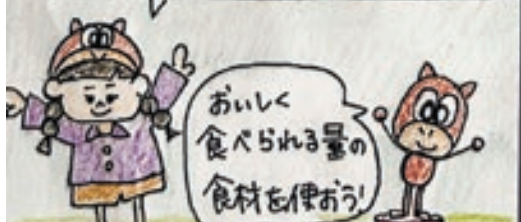


# 未来につながるアクション



SDGsのゴール12では「2030年までに捨てられる食料を半分に減らす」ことを目標にしているのぞ みんなも気をつけよう!



12 つくる責任 つかう責任



今月は「食品ロス」に関するアクションをご紹介します。みなさんは1年間でどのくらいの量の食べ物が捨てられているかご存じでしょうか。これからもおいしいものを食べていけるように一緒に考えてみませんか。



キーワードは「食べ残しを減らそう」



「食品ロス」とは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食べ物のことを言います。捨ててしまうのは、もったいないだけでなく、地球環境にも悪影響があるとされています。今、これからの未来に向けて、食品ロスを減らすために私たちができることはどんなことがあるのでしょうか。

## □年間でどのくらい食料を無駄にしている？

日本の1年間の「食品ロス量」は約523万トンです。約523万トンってどのくらいの量だと思いますか？国民一人当たりの食品ロス量として換算すると、毎日おにぎり1個分（約114グラム）の食品を捨てている計算になります。食品ロスは大きく2つに分類できます。料理の食べ残し、使わず捨てられてしまう食品など、各家庭から発生する「家庭系食品ロス」と、小売店での売れ残りや返品、飲食店で発生する食べ残しなど、事業活動を伴って発生する「事業系食品ロス」です。参照：特集「食品ロスって何が問題なの？」：農林水産省

## □みんなも3010運動を心掛けてみよう！

### 3010(さんまるいちまる)運動



3010(さんまるいちまる)運動は、宴会の時の食品ロスを減らすためのキャンペーンです。3010運動は、松本市発祥のアクションです。乾杯からの30分間とお開き前の10分間は自分の席で料理を楽しみ、食べ残しを減らそうと呼び掛ける運動です。食料資源を無駄にせず、ごみを減らして環境への負担を抑えるため、一人ひとりが「もったいない」を心掛けて宴会をおいしく楽しみましょう！

限られた資源をおいしく楽しく食べることを意識してしていきましょう！ではまた来月～！

